

だいず、えだまめ、とうもろこし、飼料用とうもろこし  
畑作用土壌処理除草剤

# トップメット®

フロアブル

イネ科・広葉雑草から、  
あなたの作物を守ります。

2つの有効成分で幅広く防除!

ピロキサスルホン



リニュロン

**MERIT 1** 新規成分ピロキサスルホンがスズメノカタビラに高い効果。

**MERIT 2** 幅広い一年生雑草の発生を約40日間抑制可能。

**MERIT 3** 低薬量なのでコンパクト。フロアブル剤で使いやすい。(3ℓ規格)

スズメノカタビラもしっかり抑える!



## ■適用雑草および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ピロキサスルホンを含む農薬の総使用回数	リニュロンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
だいず えだまめ	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	250~ 350ml /10a	100ℓ /10a	1回	全面 土壌散布	1回	2回以内 (全面土壌散布は1回以内、 雑草茎葉兼土壌散布は 1回以内)
飼料用とうもろこし とうもろこし								1回

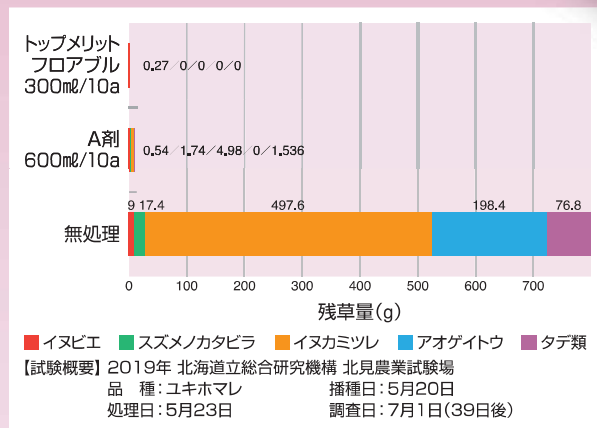
## イネ科雑草も広葉雑草も、 長期間の残効でしっかり抑えます!

### ■殺草スペクトラム

科名	雑草名	効果	科名	雑草名	効果
イネ科	イヌビエ	◎~○	ナデシコ科	ハコベ	◎
	メヒシバ	◎		ミミナグサ	◎
	エノコログサ	◎		オランダミミナグサ	◎
	スズメノテッポウ	◎	タデ科	オオイヌタデ	◎
	スズメノカタビラ	◎		イヌタデ	◎
	オヒシバ	◎		タニシバ	◎~○
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	◎	アブラナ科	ナズナ	◎
ヒユ科	アオビユ	◎	ナス科	イヌホオズキ	◎
	イヌビユ	◎	スベリヒユ科	スベリヒユ	◎
	アオゲイトウ	◎	キク科	ハキダメギク	◎
ヒユ科 (旧アカザ科)	アカザ	◎		ノボロギク	◎
	シロザ	◎		イヌカミツレ	◎
			ツユクサ科	ツユクサ	◎~□

除草効果: 極大◎、大○、中□、小△、無×

### ■委託試験成績(だいず)



## 輪作体系の注意点(後作への影響)

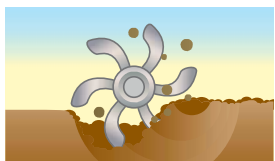
トップメリットフロアブルを散布した圃場では、当年または翌年の稲、大麦、ソルガムの栽培をさけてください。薬害を生じるおそれがあります。

体系例	当年	翌年	翌々年
×	だいず とうもろこし	稲、大麦 ソルガム	
○	だいず とうもろこし	小麦、豆類 てんさい等	稲、大麦 ソルガム

注: 散布した当年の水稻、大麦、ソルガムの栽培もさけてください。

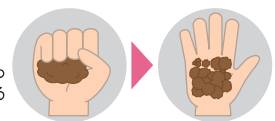
### ■処理時のポイント

- 碎土、整地はていねいに行い、種子が露出しないように覆土はできるだけていねいに行い、覆土深を2~3cm以上としてください。



- 土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣るので、土壌が適度の水分を含んでいる時に使用してください。

※土壌を手のひらで軽く握った土塊を簡単に崩せる状態が適湿です。



### ▲効果・薬害等の注意

- 散布薬液の飛散あるいは流出によって有用植物に薬害を生じるおそれがあるので、散布の際には隣接作物にかからないように注意してください。特に風の強い時の使用はさけてください。
- マルチ栽培、トンネル栽培等での使用は薬害を生じるおそれがあるので、さけてください。
- とうもろこしに使用する場合、薬害を生じるおそれがあるのでスーパースイート系には使用しないでください。
- 稲、大麦、ソルガムに薬害を生じるおそれがあるので、散布した当年または翌年の栽培をさけてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

### ▲安全使用上の注意

- 魚毒性等: 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保 管: 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器等は圃場などに放置せず適切に処理してください。

この資料は2024年2月現在の登録に基づいて作成しています。

